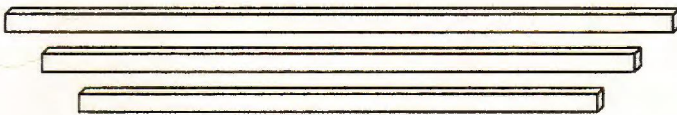




2000 年度卒業 / 2001 年度入学記念

どこでもドアのかぎ 5



どこでもドアのかぎ 5
～教職員がすすめる一冊の本～

目次

国際教養学科 波田野 節子.....	2
英文学科 福嶋 秩子.....	3
英文学科 ドールトン フランク.....	4
国際教養学科 黒田 俊郎.....	5
英文学科 小谷 一明.....	6
幼児教育学科 石垣 健二.....	7
国際教養学科 柳町 裕子.....	8
英文学科 石栗 彩子.....	10
国際教養学科 石川 伊織.....	11
英文学科 太田 正之.....	15
幼児教育学科 大桃 伸一.....	16
英文学科 大橋 儀隆.....	17
生活福祉専攻 島崎 敬子.....	19
国際教養学科 村屋 勲夫.....	20
生活福祉専攻 姉齒 暁.....	21
国際教養学科 水上 則子.....	23
国際教養学科 堀江 薫.....	25
国際教養学科 高久 由美.....	26
国際教養学科 木佐木 哲朗.....	27
国際教養学科 板垣 俊一.....	28
国際教養学科 若月 章.....	29
前号アンケート結果.....	30
「どこでもドアのかぎ5」アンケートのお願い.....	33

国際教養学科 波田野 節子

十九歳の東京日記

周恩来

矢吹晋編/鈴木博訳

小学館文庫

19歳の周恩来が東京で書いた、1917年1月から12月までの日記です。受験のために来日した周恩来は、さまざまな悩みのうちに1年数か月を東京で過ごし、受験には失敗して日本を離れました。(合格していたら中国の歴史は変わっていたかも！?)当時の日本と中国の関係に関する歴史的・政治的興味もさることながら、中国人留学生の目を通して見た大正時代の東京の姿がマニアックなほど詳しい注付で描かれているのが魅力的です。

英文学科 福嶋 秩子

1945年のクリスマス 日本国憲法 に「男女平等」を書いた女性の自伝

ベアテ・シロタ・ゴードン
柏書房

憲法をめぐる論議が高まっていますが、ひとつ知っておきたい事実があります。

それは、日本国憲法に「男女平等」の条項が入ったのは、ある若いアメリカ女性がいたからだということです。戦前の日本人女性の生活をつぶさに見ていた彼女がいなければ、日本の男女平等は何十年遅れたかわかりません。

この条項を加えることについて当時の日本政府代表がいかに抵抗したかを読むと、いよいよその感が強くなります。ただし、このような形で「男女平等」が与えられたからこそ、形式的には変わっても、社会のいろいろなところでの差別が見過ごされてきたともいえます。まずこの本を読んで、これからの男女共同参画社会を考えるきっかけにしてほしいと思います。

英文学科 ドールトン フランク

神との会話 1、2、3

(Conversations with God, Books 1, 2, 3)

Nealle Donald Walsh
Putnam

この本は宗教に関するものではない、我々の生き方や考え方を
変えることに関するものである。人類と社会に関するとても重要な
意見があります。キーワードは『自分らしく生きる』です。私は強
くこの3本のシリーズを推薦します。

国際教養学科 黒田 俊郎

20世紀SF①：1940年代

星ねずみ

中村融・山岸真編
河出文庫

じつはこの本、まだ読んでいません。買っていません。

じゃあなんで推薦するんだという声が聞こえてきそうですが、話しは単純です。私が愛読している朝日新聞の新刊トリケラトプス欄で珍しく三人の選者がそろって満点をつけていた本だからです。むしろそれだけではありません。1940年代、SF黎明期の抜群におもしろい短編ばかりを集めたアンソロジーだからです。アシモフ、ハインライン、クラーク、ブラッドベリ、皆、わたしが、手塚治虫や萩尾望都なんかと一緒に、ローティーンの頃、時の経過を忘れて読みふけた作家たちです。ですから個人的にもお勧めできます。最初の一冊は、私が買いますから、ぜひ生協においてください。

詩のころろを読む

茨木のり子
岩波ジュニア新書

私の好きな詩がたくさん入っていて、さらに詩人による感動的な解説つきの珠玉のアンソロジー。詩集を手にとることなんか、あまりないんじゃないでしょうか。この機会にどうぞ。気に入った詩が見つかるとうれしいのですが。

英文学科 小谷 一明

彼らの目は神を見ていた

ゾラ・ニール・ハーストン

松本昇訳

新宿書房

20世紀初頭の黒人女性ジェイニー。奴隷であった祖母、失踪した母。おしつけられた結婚。絡み合った境遇から、彼女は逃れるように裕福な男と駆け落ちをする。黒人の町を建設する夫、市長夫人となったジェイニー。しかし彼女にはある焦燥感が残る。その原因は、幼少期に撮られた一枚の写真であった。

パラダイス

トニ・モリスン

大社淑子訳

早川書房

「再建期」以降、ある田舎町の黒人たちがどのようにコミュニティを築いたのか、その中でどのような世代間の軋轢が生じたのかを描く。純血（エイト・ロック）とは何か、伝統とは何か。昨今のアフリカ主義を抱懐しつつ、モリスンが 'History X' (未知の歴史) に挑む。

ことばが劈かれるとき

竹内敏晴
ちくま文庫

「他人とうまくコミュニケーションがとれない」ということが、いま大きな社会問題になっている。つまり、他人とどのように言葉を交わしてよいのかわからない、そういう人間がふえたということであろう。はたして彼らは「こころ」を病んでいるのだろうか。舞台演劇にたずさわる著者は、こうした問題を、「こころの問題」としてでなく、「身体（からだ）の問題」としてとらえてみせてくれる。こころや言葉という以前に、身体が他人に劈かれていなくてはならない。こころや言葉の土台となる身体こそ柔軟でなくてはならない。そんなことを気づかせてくれる。

吾輩ハ苦手デアル

原田宗典
新潮文庫

誰だって「苦手なこと」をいくつかかかえている。苦手なことに出くわすと思わず避けて通りたくなるのが心情であろう。でも、苦手なことを卑下せずに、逆におもしろおかしく語ってみるとどうなるか。著者の原田は、苦手ばなしを逆手にとって、それを饒舌な口調で自慢ばなしにまでしたてあげている。親しみあふれる原田の口調は、読書が苦手なあなたを豹変させるやも！しれない。

国際教養学科 柳町 裕子

巨匠とマルガリータ(上)(下)

ミハイル・ブルガーコフ

法木綾子訳

群像社

時空も次元も超えた小説ならではの魔の世界がモスクワの街にひろがる……。それともモスクワが魔の世界なのか……。最近、新訳が出て手に入りやすくなったので、ぜひあなたもこの小説を体験してみてください。

アンネナプキンの社会史

小野清美

宝島社文庫

私は、アンネナプキンの登場よりも（ちょっとだけ）後に生まれた世代です。でも初潮を迎えたとき、母親にガーゼや脱脂綿を利用したお手製ナプキンの作り方を教わって練習させられました。そういう経験をした世代としては最後かもしれません。皆さんは、アンネナプキンのない時代には一体どうしていたのだろうと疑問に思ったことはありませんか？ 平安時代には、そして戦争中には？

この本は、そんな疑問に答えてくれるだけでなく、タブー視されがちな月経処理の歴史に光をあてることで、今まで書かれた歴史の本ではあまり見えてこなかった女性の生活史も浮き彫りにしてくれる良書です。最近、リクエストに答えて文庫化されました。

外国語の水曜日

(学習法としての言語学入門)

黒田龍之助
現代書館

国際教養学科ロシア語コースの学生にとってこの著者の名前は、1年生で使っている教科書の著者として、そして、あまりにもロシア語がうまいので「りゅうのすけ」の最初の音が巻き舌になってしまう友人として私が紹介したので、馴染みがあるでしょう。この本で彼は、英語だけじゃない外国語を学ぶ楽しさについてとても読みやすい文章で語ってくれます。英語中心に学んでいる人にもおすすめします。英語を学ぶことに新しい楽しさを見つけられるかも。とっつきにくいと思われがちな言語学の入門書としても役に立ちます。

日本語練習帳

大野 晋
岩波新書

私たちは、普段、何気なく言葉を使いコミュニケーションを行っているような気になっていますが、自分の考えを人にわかりやすく話したり、書いたりすることは本当はとても大変な作業です。大学でレポートを書く経験をした人はもうそのことを痛感しているでしょう。また、人が話していることや書いていることを正しく理解するためにも訓練が必要です。この本は、そのような努力をどう具体化すればいいかについて書かれた本です。

英文学科 石栗 彩子

フェミニズム

竹村和子
岩波書店

フェミニズム関係の本はあまりにも次々と刊行されるので、議論についていっただけでも大変ですが、2000年に「思考のフロンティア」シリーズの一冊として出版されたこの本は、薄い中に今までの議論の流れをまとめてあるだけでなく、今後の問題点についてもわかりやすく述べられている好著です。著者は、90年代のフェミニズム理論の流れをつくったジュディス・バトラーの『ジェンダー・トラブル』の訳者であり、本書でも女性/男性の身体性について鋭い考察を行っています。また後半ではフェミニズムとポスト・コロニアリズムが接続され、フェミニズム理論が決して「女性」を語るためだけのものではないことを、帝国主体とその他者に対する視点から示しています。身体に付随する虚構性とそれをさらに覆う政治、経済、社会の価値体系を表す言説がどのように私たちを構造化しているかという、何となくわかるけど説明しにくい部分がきちんと書かれているので読むとすっきりしますが、反面、現実の問題が山のように見えてくるのでむらむらしてしまう本です。

国際教養学科 石川 伊織

とんかつの誕生 明治洋食始め

岡田哲

講談社選書メチエ

講談社選書メチエのシリーズには、『……の誕生』というタイトルのグループがあります。『とんかつの誕生』もその中の一つです。

「とんかつ」はいつ頃出来たか？ 「とんかつ」より「カツどん」の方が先にあった？ その「カツどん」にもいろいろあって……西洋料理を日本化した「洋食」については、日常的によく食べているくせに、案外知らないことがたくさんあります。カレーライスだって、いつ頃日本化されたのか？ コロッケは？

この本は、そうした、知っていそうで知らない私たちの食生活の歴史を知るには最適です。

新約聖書はなぜギリシア語で書かれたか

加藤隆

大修館書店

イエス・キリストはユダヤ人だったはずですよ。なのに、なぜ、新約聖書はギリシア語で書かれたのでしょうか？ イエスがギリシア語で説教をしていたはずはありませんのに。考えてみれば不思議なことです。そもそも、紙に文字で書かれた『聖書』という書物を必要としていたのは誰だったのでしょうか。

クリスチャンで神学者という著者の、信仰の上での情熱に支えられて、しかも、信仰を共にしない人にもわかりやすいように、合理的・客観的・学問的に書かれた極めて立派な宗教の本です。

新約聖書の誕生

加藤隆

講談社選書メチエ

講談社選書メチエのシリーズには、『……の誕生』というタイトルのグループがあります。『新約聖書の誕生』もその中の一つです。

『新約聖書』が成立したのはいつの頃のことだったか、想像できますか？ 今私たちが手にしている聖書は、やっと19世紀になってから出来上がったものなのです。いや、ドイツのルター派の教会で現在使われている聖書は、日本の聖書とは文書の順序が違いますから、いまだに聖書の正統的なテキストは確定していないと言ってもいいでしょう。どうしてそんなことが起こるのでしょうか。そもそも、聖書が書かれる前はどうやってキリストの事跡が伝えられていたのでしょうか？ 『新約聖書はなぜギリシア語で書かれたか』の著者でもある加藤さんが、この謎を見事に解いてくれます。

田宮模型の仕事

田宮俊作

文藝春秋社

そう、プラモデルやミニ四駆で有名なあの「田宮模型」です。木材で作られていた稚拙な玩具の域を出ないソリッドモデルの時代に、プラスチックモデルなるものを日本でも作ろうと試行錯誤を繰り返す、執念の町工場の親父さんの話です。ある種、オタクのはしりでしょう。模型にするには実物を知らないといけない、というので、博物館で巻尺で持って展示物の戦車を計った話とか、もう、ここまで凝るかというようなエピソード満載の本です。

たんぽぽのお酒

レイ・ブラッドベリ

晶文社

SF界の詩人とも言われるブラッドベリのそれはそれは美しい作品。時は1920年代。場所はアメリカの農村。12歳の少年ダグラス・スポールディングは、夏の初めに、「ぼくは生きてるんだ」ということに初めて気づきます。その一夏は、身近な人々の生と死とが、日常の中にある喜びと恐怖とが、普通の人の普通の幸せと突然の不幸とが、かわるがわる彼を襲います。生きているっていうのはどういうことなんだろう？ 夏にタンポポの花を絞って取り出したジュースを瓶詰めにして作るお酒の黄金色の輝きの中に、ダグラスの経験といっしょに、彼の生命が凝縮されていきます。

幕府天文方御用

伊能測量隊まかり通る

渡邊一郎

NTT出版

幕府はなぜ地図を作らせたのか？ 幕末までこの地図は極秘文書扱いで、使用された形跡が無いんですよ。だったら、何のために作らせたのか？ 不思議なことです。その不思議なことのために、最初は忠孝の私費で、後には幕府が莫大な予算を組んで、全国の測量が行われました。幕府御用となれば、測量隊が通過する各地で、地元の領主はこれを最上級の待遇で迎えなくてはなりません。けれども、藩によっては幕府に申告している石高と実際の石高が違って、これらがばれたら大変だとばかりに、それとなく測量の邪魔をしたりします。それはもう大変な旅だったようです。

君たちはどう生きるか

吉野 源三郎

岩波文庫

第二次世界大戦に日本が参戦していく時代、戦争に賛成しないと「非国民」といわれるようになる、そうした時代に書かれたにもかかわらず、当時の子どもたちに自分で考えることの大切さを伝えようとした本です。著者は、「君たちはこう生きなさい」とは言いません。どれが正しい生き方だとも言いません。ただ、「君たちはどう生きるか」と問いかけているだけです。そして、この問いかけは、それから60年がたとうとする今日でも、やっぱり大切です。この問いには正解など存在しないことは充分承知したうえで、それでも私は、著者にならって皆さんに尋ねます。あなたならどう生きますか？

用論六文天執幕
る戯じや老樹量既頭時

第一巻

第1章

吉野源三郎の『君たちはどう生きるか』は、第二次世界大戦の最中、1942年に刊行された。この書は、戦時体制下の日本において、子どもたちに何を教えるべきかという問いを提起している。著者は、戦争の残酷さを伝えるだけでなく、子どもたちが自分で考えることを促している。この書は、戦後においても、教育のあり方について重要な示唆を与えている。

英文学科 太田 正之

反常識講座

光文社
1998年

渡辺淳一
光文社 1998年

「遺伝子も気持ちのもちようで変えられる」、「『鈍い』のも立派な才能である」などと言われ、肩の荷が下りたように感じました。多少なりとも「常識」から「開放されたい」と思っている人にお薦めの一冊です。

文芸春秋
1998年

主として、この本は、太田正之氏の「反常識」論を、渡辺淳一氏が著述の
中心として取り上げ、その意義を論じている。この本の中心は、渡辺淳一
氏の「常識」論である。渡辺淳一氏は、この本の序文で、常識とは、
社会の常識である。常識とは、社会の常識である。常識とは、社会の常識である。

幼児教育学科 大桃 伸一

だから、あなたも生きぬいて

大平光代
講談社

中学の時、いじめを苦にして割腹自殺を図る。その後、非行に走り極道の妻となるが、ある出会いから立ち直り、司法試験に合格。現在、非行少年の更正に努める女性弁護士の自らの体験を綴ったベストセラー。

最後の瞽女

—小林ハルの人生—

桐生清次
文芸社

生後まもなく失明した小林ハルさんが差別に耐えながら懸命に生きた100年の人生は、21世紀に生きる皆さんに人間として大切なものを問いかけています。著者は本学非常勤講師。

英文学科 大橋 儀隆

詩を読む若き人々のために

C.D. ルーイス

深瀬基寛訳

筑摩書房

オックスフォード大の詩学教授、桂冠詩人である著者が、若者の為に英国の詩を材料として、詩とは何か、その種類、効果、鑑賞の仕方を平易に説いたものである。出版当時から評判の高い名著である。深瀬氏の引用されている英詩の訳も併せて名訳である。原文も読みやすい。余談であるが、著者の息子の一人 (Sean Day-Lewis) が書いた恋多き父親の伝記 (Unwin Paperbacks, 1982) によれば離婚話の最中で二人の息子の受けている教育状況をみながら、二人を念頭においてかいたのだそうだ。ルーイスは詩は世界をしり、愛する大切な道具であるとして、想像力と言葉の再創造の重要性を説いている。

英国の文学

吉田健一

岩波文庫

英国を良く知りその文学を愛する、卓抜の語学力を持つ吉田氏の英国文学を生む自然、風土、英国人魂を詩を使用して解説したものである。詩は情熱が生んだものであると説く文学の立場である。

生活福祉専攻 島崎 敬子

出生前診断

佐藤 孝道
有斐閣 1997年

本書では、「命の選別」という出生前診断の本質を通して21世紀の社会のあり方の根底が問われている」と述べています。

人間のいのちと、生きることの尊厳を守りきることが困難な社会状況がある中で、重要な示唆を与えてくれる一冊です。

伊藤田 薫
文章 登日

国際教養学科 村屋 勲夫

無意識の構造

河合隼雄
中公新書

朝ふとんの中で半分目ざめているとき、意外にひらめきみたいなことを感じたり、論理的思考がうまく進んだりする。夜恐ろしい夢を見る。いずれも無意識の世界からのメッセージだ。著者は日本におけるユング心理学の草分け的存在。人間の心に興味のある人におススメ。

ベーシック アメリカ経済 入門 新版

原田和明
日経文庫

第二次世界大戦後のアメリカ経済の盛衰と復活について、わかりやすく記述されている。とりわけレーガン時代の光と影、クリントン時代の経済の再生について、カラフルな図表をたくさん盛り込んで、取り上げており、アメリカ産業の特徴についても論じている。

生活福祉専攻 姉齒 暁

不安社会を生きる

内橋克人
文芸春秋

新しい世紀に突入しても、いまだに不況から脱していない日本経済。考えてみれば、マネーゲームに金融不祥事、金融工学の旗手だったノーベル経済学者達が興した会社も見事につぶれ、結局だれでもいつでも儲かる投資なんてないんだということがわかった1990年代、著者は「利が利を生むマネー」が世界を動かす「虚の経済」がものづくりという「実の経済」を圧倒する構図のなかで経済全体が疲弊したのだといいます。経済大国のなかにあるはずなのに、なぜ私たちはこんなに「不安」なのか、それを実際に起こったさまざまな90年代の出来事をわかりやすく説明しながら議論していきます。

厚い本ですが、そこここにちりばめられている「人間性の復活」に向けてのシナリオは、社会に出る皆さんが読んでおいてほしい一冊です。

沈まぬ太陽（3部構成全5巻）

山崎豊子
新潮社

厚い本の上、なんと5巻にもわたる超大作でありながら、ベストセラーになった作品です。

航空会社の労働組合委員長として「空の安全」を求めて会社と闘ったために、カラチ・テヘラン・ナイロビと10年間も懲罰人事で「流刑」された主人公「恩地 元」と彼を取り巻く仲間達、家族、そしてそういう組合員達の声に耳を貸さなかった航空会社が起こした「史上最悪の航空機事故（520人死亡）」である「御巣鷹山ジャンボ機墜落事故」（言うことはどこの会社だかわかりますね）が第2部の「御巣鷹山篇」を構成しています。

この事故の犠牲者の遺族ひとりひとりに取材し、未公開の写真も含めて遺体検視の実相を描くなど、これまで「大地の子」や「不毛地帯」など、歴史に残る作品で社会を鋭く描いてきた著者ならではの力作です。

ちなみにこの本に登場する「恩地さん」は名前は違いますが実在の人物です。

山崎さんはある新聞のインタビューに答えてゲーテの言葉を引用しながら次のように言っています。「『金銭を失うこと。それはまた働いて蓄えればよい。名誉を失うこと。名誉を挽回すれば、世の中の人は見直してくれるであろう。勇気を失うこと。それはこの世に生まれてこなかった方が良かったであろう。』何ときびしい言葉ででしょうか。どんなに正しいことを考えても、それを実践に移すのは勇気なんです。この言葉を互いに肝に銘じていきましょう。」

これも大作ですが、是非買って読んでいただきたいと思います。

収容所から来た遺書

辺見じゅん

文春文庫 1992年

第二次世界大戦の際にソビエト連邦の捕虜となった日本人は60万人。収容所に送られ、極寒と飢餓の中で重労働を課されて、そのうちの7万人が亡くなりました。極限状況にあって周囲の精神的な支柱となる主人公の姿は、人間はどこまで強くなれるのか、人間の真価とはどこにあるのか、を教えてくれるように思います。彼が帰国を果たせないまま亡くなったあとの仲間たちの決意と行動にも胸打たれます。

また、過酷な収容所（ラーゲリ）生活を強いられたのは、外国人だけではありませんでした。多くは無実の罪で、多数のソビエト人が収容所に送られましたが、作家ソルジェニツィンもその一人でした。

「イワン・デニーソヴィチの一日」は、その体験を見事に作品として昇華させたものです。こちらもぜひ読んでみてください。

窠変 源氏物語 (1~14)

橋本治
中公文庫

「源氏物語」は、これまでに書かれた小説の中で、最高のものの一つとっていいでしょう。しかし、言葉だけでなく、小説の書き方自体も、現代とは大きく異なっていて、現代語訳するだけでは、どうしても読みにくいところがあります。著者は、源氏物語を訳すのではなく、一から自分の小説作法で語りなおし、現代人のための作品として生まれ変わらせています。紫式部が現代に生まれて来て読んだとしても満足するのでは、と思えるような、見事なできばえです。なお、文庫も出ていますが、お金と本棚のスペースに余裕のある方には、同じく中央公論社から出ている単行本の方をお勧めします。ところどころに挿まれている、美しくまた思わせぶりなモノクロ写真(おおくぼひさこ)が、流麗な文章と一体となって、独特の世界を作り上げるのに成功しています。

国際教養学科 堀江 薫

地球環境報告Ⅱ

石 弘之
岩波新書

現在、世界の至るところで、さまざまな環境問題が発生しています。これは、自動的に、多くの人々が苦しんでいることを意味します。「明るく楽しい話」でなくてスミマセンが、他人の痛みを理解し、それを無くすようにあれこれ考えることが、学問の目的の一つだと思えます。

国際教養学科 高久 由美

李陵・山月記

中島 敦
新潮文庫

「中島敦ならもう読んだ」という方も、今一度かれの物語の世界へどうぞ。中国の伝奇や歴史の世界を幼い頃から自由自在に渉猟し、それらを読むだけでは飽きたらず自らそれらを題材にして物語にしまった日本人。むかしはこんなことばで物語を書ける人もいたのですね。

国際教養学科 木佐木 哲朗

バナナと日本人

著者 木佐木 哲朗
著文者 木佐木 哲朗

鶴見 良行
岩波新書

バショウ科に属する多年草であるバナナは、東南アジア原産で非常に古くから栽培されてきた作物のひとつです。その種類も多く利用法は多様であり、関わる人々によってその意味も異なっています。安価で身近な果物であるバナナを題材に、それを生産するフィリピンの人々と、消費する日本の我々と、その間に存在する多国籍企業の間を考えたものです。それを知った上で、バナナを食べるべきか？考えてみましょう。栄養や価格や安全性にだけ関心をいただき、消費するだけでいいのでしょうか。生産している相手方にも思いをはせるべきではないでしょうか。

国際教養学科 板垣 俊一

ハーメルンの笛吹き男

阿部 謹也
ちくま文庫

皆さんは、西洋＝ヨーロッパについて、どんなイメージをもっていますか。明治の文明開化のころの日本人にとって西洋は憧れであり自分たちの未来社会の手本でした。ルネッサンス以降の優れた芸術、産業革命による高度な物質文明、また科学技術のすばらしさなどなど、とりわけ近代以降の華やかな文明の側面が、西洋のイメージとして与えられてきました。しかし、社会の底辺の民衆の生活などはあまり知られていないように思いますが、どうでしょうか。例えば、中世ヨーロッパの飢えに苦しむ民衆の生活などは、あまり知れ渡ってはいません。本書は、皆さんが子どものころ読んだり聞いたりしたことのある伝説をとりあげて、ヨーロッパの歴史の底流を興味深く明かしてくれる本です。日本の歴史を考えるときの参考にもなります。難しいかも知れませんが、挑戦してみてください。

裏日本

古厩 忠夫
岩波新書

皆さんは「裏日本」という言葉を聞いたことがありますか。今ではあまり使用されなくなった表現ですが、ほんの少し前まで太平洋側を「表日本」とし、日本海側を「裏日本」と、ごく当たり前のように呼ばれてきていました。著者によると、この「裏日本」は単なる気候地理的概念ではなく、歴史的に造られた言葉だとし、何よりも日本の20世紀を具体的に表現した重要なキーワードだとも語っています。「裏日本」の存在が意味したものは一体何であったのでしょうか。皆さんにとってはおそらく難解な内容かもしれませんが、「地方の時代」とも「日本海時代」とも叫ばれている今日、近代以降の日本のあり方を大きく問い直す意味でも、しばし「裏日本」から見た日本の近代化の歩みを本書から少しでも探ってみてください。

前号アンケート結果

「どこでもドアのかぎ4」アンケートの結果を掲載させていただきます。貴重なご意見をお寄せくださったみなさん、どうもありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。

① 今回の「どこでもドアのかぎ」全体についての感想ご意見をお書き下さい。

☆「松木先生追悼号」ということで、今まで松木先生と関わりのあったいろんな方のメッセージがのっていて感動した。私にとっては会ったことのない人ですが、生協の発展のためにご尽力になられた先生ということがわかった。☆貝の絵がかわいくてすてきです。

☆松木先生という方を知らないのですが、皆さんの追悼文を読んでいて、「あー、私も、松木先生に出会いたかったなあ」と思いました。

☆生協の歴史がとても深いことがわかった。

☆松木真言先生の追悼号だそうで、どうもごしゅうしょうさまです。大変面白かったです。何読んだらいいかわかったような気がします。

☆県短の先生方の松木先生への気もちや感謝が、よくわかって良かった。おもしろそうな本がたくさん載ってて良かったです。

② この冊子を見て読みたくなった本があったら教えて下さい。

★アンダーグラウンド

アンダーグラウンドは、作者村上春樹の本をいくつか読んだことがあるので、また読んでみたいという気持ちから。

★人はなぜ騙されるのか 非科学を科学する

★アルジャーノンに花束を

誰もがもっている精神遅滞者に対する偏見についてまじめに考えてみたいと思ったから。

★丸亀日記

藤原新也さんが好きなので。

★遺伝子でできること、きまらぬこと

親と自分の似ているところが遺伝子に関係するのかと考えたことがあるから。

★異性愛をめぐる対話

恋がしたい。恋上手になりたい。ふられないテクを身につけたいから。

★愛するということ

恋がしたい。恋上手になりたい。ふられないテクを身につけたいから。

★ファウスト 手塚治虫

母が昔読んだ「ファウスト」の本を持っているんですが、その「ファウスト」を手塚氏がどのように表現しているのか、興味をもちました。

③ 特にどんな分野の本を紹介してほしいと思いますか。希望をお聞かせ下さい。

☆ベストセラーなどになっているもの

☆人間の心理や人生観などをテーマとした本

☆各学科・専攻のおすすめの専門書。あと、福祉の先生のおすすめの本をもっと、のせて欲しかったです。

☆少年犯罪が増えていることもあり、心の問題に関連した本を紹介してほしい。

☆映画の本と恋の本 ふられないようなテクがのってる本。あとは政治とか社会とか科学とか何でも知りたい。

☆夏目漱石とか宮沢賢治とか山田かまちとかの日本文学。ドストエフスキーとかのロシア文学とモンゴメリ。フランス・アメリカ・イギリス、とにかくいろんな国の文学。

④ その他、生協・教職員委員会・学生委員会への意見要望をお聞かせ下さい。

★「ほし梅」を売って下さい。←うまい

★生協のみなさん。いつも、お昼は忙しくてたいへんだと思います。ごくろうさまです。明るいふんいきの生協なので、大好きです。お昼のおかずになるようなもの（サラダとか）が入ると、もっとうれしいです。

★学校が土・日もやっていたらうれしい。

★図書館の係の人は愛想がない。うーん、なかったよ。

★食堂のサラダをもっとおいしく。日替りは Good です。



2000 年度卒業・2001 年度入学記念
どこでもドアのかぎ 5
~教職員がすすめる一冊の本~

県短生協 教職員委員会編
2001 年 3 月 21 日発行

「どこでもドアのかぎ5」アンケートのお願い

どこでもドアのかぎ・第5集の
ご感想はいかがでしょうか。

以下のアンケートにご記入の上、生協店舗の
「一言カードボックス」に入れてください。
抽選で50名の方に、500円分の図書券を
差し上げます。

締切 5月31日（木）

- ①「どこでもドアのかぎ5」全体についてのご感想・ご意見を書いてください。

- ②この冊子を見て読みたくなった本があったら教えてください。できれば理由も
お願いします。

③他にどんな分野の本を紹介してほしいと思いますか。希望をお聞かせください。

④その他、生協について、教職員委員会・学生委員会について、ご意見や要望があればお聞かせください。

所属 _____ 学年 _____ 氏名 _____

ご協力ありがとうございました。

キリトリせん



Small, illegible text or markings.



Small, illegible text or markings.